



61期（平成22年3月卒業）

- 監督 野村 淳(33期)
(※監督に関しては、夏季岐阜県大会時を表記しております。)
- マネージャー 安藤 侑子、芝田 愛紗
- 選手数 21人

氏名	出身中学
青山 知洋	羽島中央
浅野 勝行	羽島中央
大坪 良誠	各務原中央
大西 右城	梅林
蒲 千春	長良
苅谷 吉保	那加
小出 倫裕	岐南
後藤 健太	穂積北
白木 秀穂	巢南
鈴木 駿也	三輪
棚橋 淳一	岐大付属

氏名	出身中学
玉田 尚輝	長森
永田 晃平	八幡
長谷川 博之	藍川
林 佳宏	長森
林 亮太	真正
平松 和記	加納
星野 辰宜	各務原中央
堀江 弘樹	岩野田
松波 雄太	精華
松原 良	長良

■第61回 秋季岐阜県高等学校野球大会

1回戦 ● 長良 1 - 5 県岐商

■第56回 春季岐阜県高等学校野球大会

1回戦 ● 長良 1 - 5 美濃加茂

■第91回 全国高等学校野球選手権岐阜大会

1回戦 不戦勝

2回戦 ○ 長良 12 - 4 武義

3回戦 ○ 長良 3 - 2 大垣商

4回戦 ○ 長良 2 - 0 益田清風

準々決勝 ● 長良 2 - 6 県岐商

■現役当時の様子や概況など

全員の力を一つに戦う、そして苦しい努力の路を乗り越え、最高の花を咲かせようという意味で立てた61期のスローガン、“総緑戦～努力苦咲(どろくさく)～”。

秋、春とも県大会に出場するも、初戦敗退。自分達の弱さを痛感し、捲土重来を期して、日々の生活、練習、週末の練習試合に“努力苦咲”取り組んだ。

そして迎えた夏の大会。武義、シード校・大垣商、益田清風を倒し、11年ぶりのベスト8。準々決勝は、秋、春ともに惜敗した県岐商とのリベンジ戦。何度もチャンスは作るが、あと1本が出なかった。しかし三塁側のスタンドを振り返れば、授業後すぐに駆けつけてくれた多くの仲間、平日にも関わらず集まってくれた家族や先輩方の応援メガホンで緑一色だった。まさに長良高校の“総緑戦”を象徴し、感動を新たにした瞬間であった。

(平成22年3月作成)